

# Emacs

Unix 系 OS で広く利用されているエディタである Emacs では、JIS X 0213 対応が進んでいます。(Windows に移植された Emacs である Meadow も同様)

- Emacs 20.6 以上では、Mule-UCS のインストールにより JIS X 0213 が使用可能
- Emacs 22 では、jisx0213 without Mule-UCS で JIS X 0213 が使用可能
- Emacs 23 では、追加パッケージなしで JIS X 0213 が使用可能になりました

Mule-UCS の旧版では2004年改正で追加された10文字に対応していない(2006-11-27版で対応)のに対し、Emacs 23 は2004年改正に対応しています。JIS2004の符号化方式である EUC-JIS-2004, Shift\_JIS-2004, ISO-2022-JP-2004 をサポートしています。

Meadow での JIS X 0213 の使用方法について記した文書「Meadow で JIS X 0213 を使う」が公開されています。

Emacs22 で、Mule-UCS なしでも JIS X 0213 の符号化方式を扱える elisp が、Meadow のメーリングリストのアーカイブの記事「jisx0213 without Mule-UCS」に添付されています。これにより、shift-jis-2004、euc-jis-2004 などの符号化方式が使えるようになります。しかし、jisx0208 に含まれず、jisx0213 で新たに含まれた文字を utf-8 などで保存したり、逆に読んだりすることはできません。

## 関連項目

- Mule-UCS
- SKK